

サハリン州漁業庁から視察見学に訪れました！

新井雅博

平成 24 年 9 月 6 日（木）13 時～14 時 50 分、さけます・内水面水産試験場にサハリン州漁業庁水棲生物資源・船団課主任補佐官のバギンスキー D. V. 氏が来場し、場内施設の見学等を行いました。バギンスキー氏は、北海道・ロシア水産交流推進事業の一環として、職員相互派遣研修により 8/28（火）から 9/10（金）までの日程で来道し、この日、当場を視察見学に訪れました。

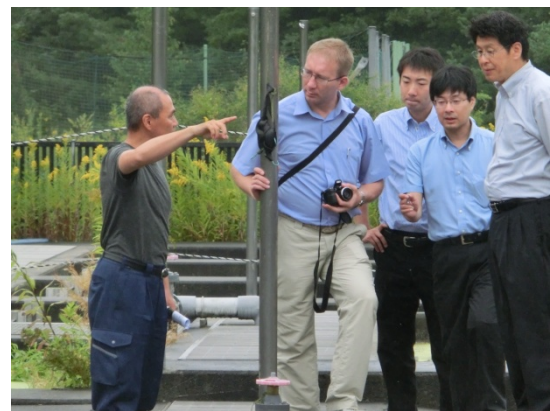


はじめに伊藤副場長から、当内水試の組織機構や研究内容等について説明を受けました。一方、ロシア国内では、ギンザケの回帰率が低下しており、現在、その原因等について調査研究を進めているとの説明がありました。また、シジミの漁獲はサハリン州南部の地域でも行われており、商業ベースで水揚げが行われているとのことでした。



次に、さけます資源部の佐々木主幹の案内で、場内施設の見学を行いました。本場研究棟 1 階にある病理実験室や生態実験室等を見学したのち、屋内飼育棟の施設を見学しました。

また、最後に屋外の飼育池で飼育しているニジマスやギンザケを見学し、特に巨大なイトウを目の辺りにし、感動した様子でした。



（総務部 あらいまさひろ）